

停留精巣手術を受けられた患者さんの

検体・情報を研究に利用することについてのお知らせ

小倉医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究に検体・カルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の[当院の問い合わせ窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 当科の停留精巣手術における診断時期と手術時期に関する後方視的研究

[当院の研究責任者] 小児外科 生野 猛

[研究の背景]

停留精巣は生後 6 か月から 2 歳までの手術が望まれております。一方、停留精巣は出生時から認める先天性停留精巣と、1 歳を過ぎて診断される後天性停留精巣に分類されます。しかし、それぞれの割合や特徴、その問題点に関する報告はこれまで少なく、これらを明確にするため本研究を計画しました。

[研究の目的]

当院で停留精巣手術を受けられた患者さんの診断時期と手術時期、および手術所見をカルテ情報から振り返り、停留精巣患者における先天性と後天性の割合やその特徴に関して明らかにします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

停留精巣の患者さんで、西暦 2015 年 5 月 1 日から西暦 2019 年 12 月 31 日の間に停留精巣手術を受けた方

●研究期間：西暦 2020 年 3 月 23 日から西暦 2020 年 6 月 30 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：なし

カルテ情報：診断名、年齢、身体所見、出生歴、既往歴、画像検査、術式、手術所見

●検体や情報の管理

検体や情報は当院のみで利用します。

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構小倉医療センター

小児外科 医師 生野 猛

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号

電話 093-921-8881